11月期の経営状況について

MINECOMME
峰田専務の一言コメント

新年あけましておめでとうございます。
昨年は格別のお引立てを賜り
厚く御礼申し上げます。
3～11月期はのべ368万467名の
組合員の皆様にご利用いただきました。
本当にありがとうございます。
本年も、より一層のご支援賜りますよう、
役職員一同心よりお願い申し上げます。

① 経営概況

総供給高（売上高）は予算差▲3,789万円（前年差▲4,725万円）、供給剰余（粗利益）は同じく▲499万円（同▲103万円）、手数料収入は同▲4万円（同＋55万円）、事業総剰余（事業収入）は同▲503万円（同▲48万円）で、予算未達になりました。

一方、事業経費は、人件費（職員給与など）は予算差＋339万円（前年差＋19万円）、物件費（消耗品費など）は同▲25万円（同▲282万円）となり、人件費が超過執行でした。

その結果、事業剰余金（事業収入から事業経費を差し引いた営業利益）は実績＋2,146万円で予算差▲817万円（前年差＋216万円）となりました。

② 供給状況

- 購買店舗では全店が予算未達成でした。特にキャンパスサポートセンターの予算未達が大きかったです。キャリアサポートプラザは予算を達成しました。川内北地区、工学部地区では客数は増加傾向ですが、理薬地区、片平地区、農学部地区は減少しています。
- 食堂店舗では、文系食堂が予算を達成しています。また、けやきダイニングも昨年実績を超えています。11月は平日の営業日数が昨年比で2日少なく、その影響が大きかったです。
- 旅行店舗では、トラベルコープ川内店は予算差▲165万円（前年差▲234万円）、トラベルコープ工学部店は予算差▲578万円（前年差▲750万円）でした。分類別にみると、自動車学校が堅調ですが、海外航空券が減少しています。

③ 損益状況

- 全体損益は、供給高が予算を大きく割り込みました。また、経費も超過し、事業剰余予算を達成できませんでした。今後は利用回復に努めながら、経費執行のコントロールを行い、事業剰余予算の達成を目指します。
- 11月の全店客数は423,616人で前年差▲57,648人でした。（星陵地区▲23,060人）
- 11月累計（3 ～ 11月）では新生活サポートセンターは好調でしたが、星陵会館改修工事の影響と通常の利用減少（研究室含む）が深刻で、事業総剰余が大きく減少しています。そのため事業剰余金は▲742万円（予算比▲7,334万円、前年差▲7,104万円）の赤字になっています。

3～11月期累計比較損益計算書

東北大学生活協同組合　　自2014年3月1日　至2014年11月30日

	科　目	2013年度実績	2014年度予算	2014年度実績	前年差	予算差
1	総供給高	46億2119万円	44億6921万円	42億4835万円	▲3億7284万円	▲2億2086万円
2	供給剰余	10億1749万円	10億0622万円	9億6404万円	▲5345万円	▲4218万円
3	手数料収入	1億5162万円	1億4442万円	1億4021万円	▲1141万円	▲421万円
4	事業総剰余（事業収入＝2+3）	11億6911万円	11億5064万円	11億0425万円	▲6486万円	▲4639万円
5	人件費	6億8845万円	6億8365万円	6億9817万円	972万円	1452万円
6	物件費	4億1704万円	4億0107万円	4億1350万円	▲354万円	1243万円
7	事業経費合計（＝5+6）	11億0549万円	10億8472万円	11億1167万円	618万円	2695万円
8	事業剰余金（＝4-7）	6362万円	6592万円	▲742万円	▲7104万円	▲7334万円
9	事業外収入	1253万円	0万円	629万円	▲624万円	629万円
10	事業外費用	717万円	6万円	131万円	▲586万円	125万円
11	経常剰余金（＝8+9-10）	6898万円	6586万円	▲244万円	▲7142万円	▲6830万円

※事業剰余予算1754万円、経常剰余予算2446万円